



詳細解説！Hinemos ver.6.2の全体像

NTTデータ先端技術株式会社

はじめに

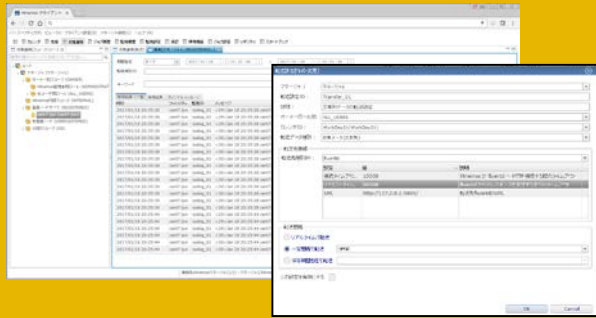
- 本セクションでは、以下のような疑問をお持ちの方をターゲットにHinemos ver.6.2が持つ幅広い機能を紹介します。
 - Hinemosって具体的に何ができるの？
 - 過去のHinemosは知っているけど、今のHinemosはどう進化したの？
 - 他の運用管理製品とどう違うの？
- 機能だけでなく、Hinemosの特徴や実際に使用する際のTIPSなども盛り込んでHinemos ver.6.2の全体像を紹介します！

1. Hinemosとは
2. 共通基本機能
3. 収集・蓄積機能
4. 監視・性能機能
5. 自動化機能
6. 商用システム運用を実現するHinemos
7. エンタープライズ機能
8. クラウド・VM管理機能
9. ミッションクリティカル機能
10. Hinemosの構成

Hinemosとは

統合運用管理を実現する機能をワンパッケージで提供

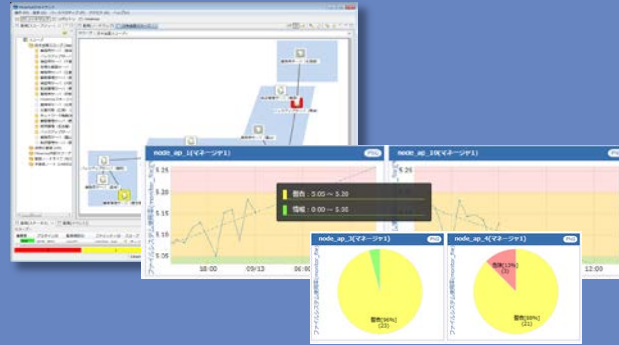
収集・蓄積機能



収集
管理対象機器のあらゆる情報を収集

蓄積
収集したデータを蓄積管理

監視・性能機能



監視
システム稼働状況確認、異常検知を実現

性能
システム稼働状況の可視化を実現

自動化機能

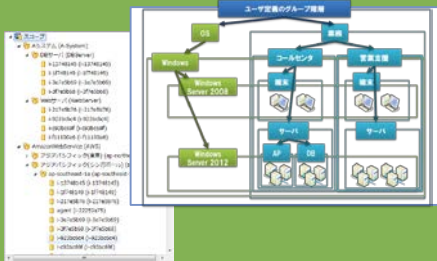


構築自動化
環境構築の一連の作業を定型化

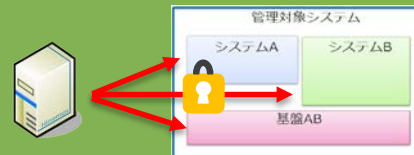
業務自動化(ジョブ管理)
システム運行処理を一元的に管理

運用自動化(Runbook Automation)
確認・判断を含む運用プロセスを自動化

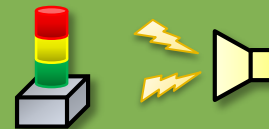
共通基本機能



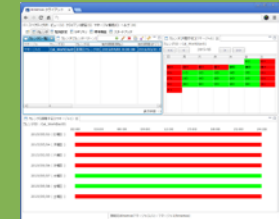
リポジトリ
管理対象システムの構成、
マシン構成の統合管理を実現



アカウント
Hinemosを操作するユーザ権限
をロール・設定単位で指定



通知
運用結果に応じたアクションを
自動で実行

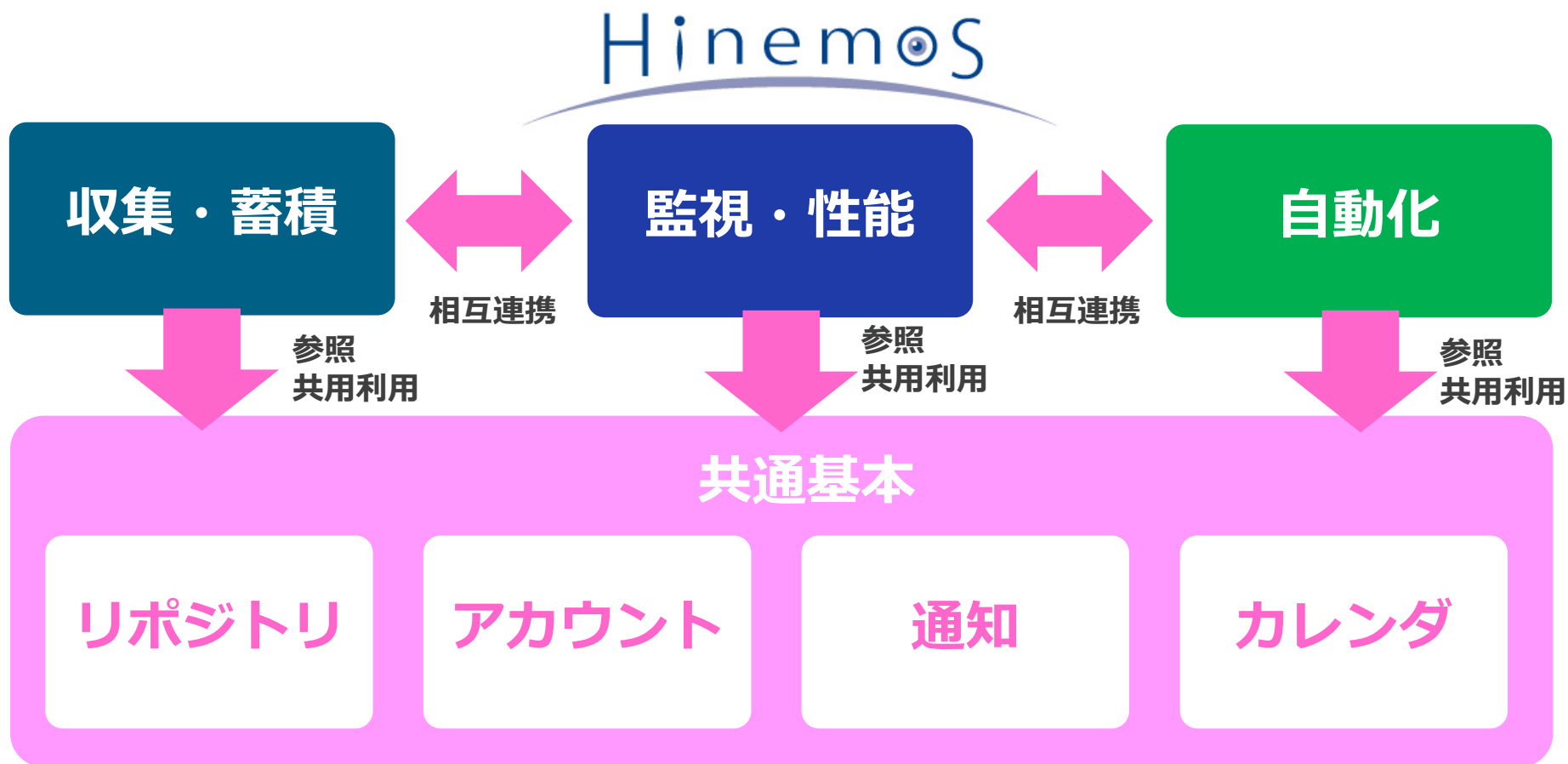


カレンダー
予め定めたスケジュールに
応じた運用自動化を実現

共通基本機能

共通基本機能 概要

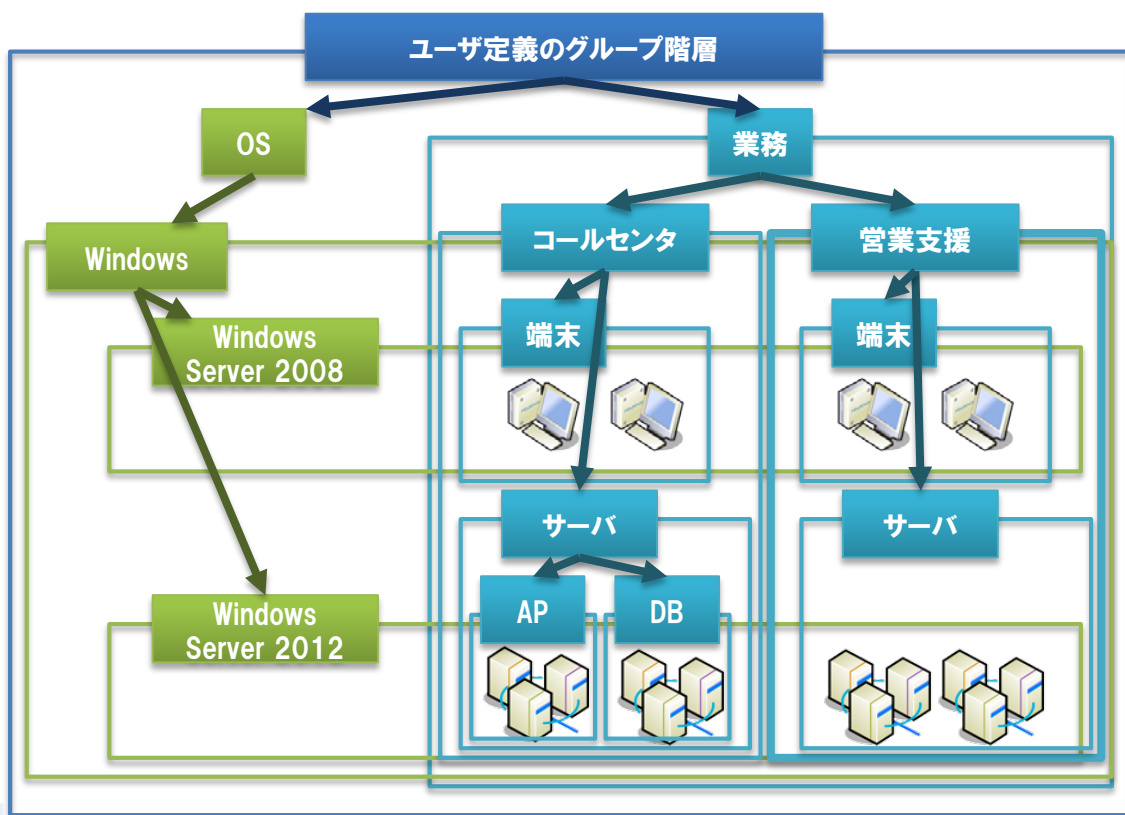
統合運用管理を実現するための、シームレスな機能間連携を実現



リポジトリ機能

管理対象機器（**ノード**）を利用用途でグルーピング（**スコープ**）可能です

スコープ設定例



スコープの多段定義が可能

ノードの複数所属が可能

監視・ジョブ実行対象に
スコープ指定が可能

論理的なグループ単位で
監視・ジョブの設定が可能

複数ノードに対する同一の
監視要件を、1設定に集約可能

リポジトリ機能 構成情報管理

管理対象ノードのデバイス情報のみならず、
パッケージ情報・プロセス情報の取得・履歴管理が可能です

情報得

デバイス情報

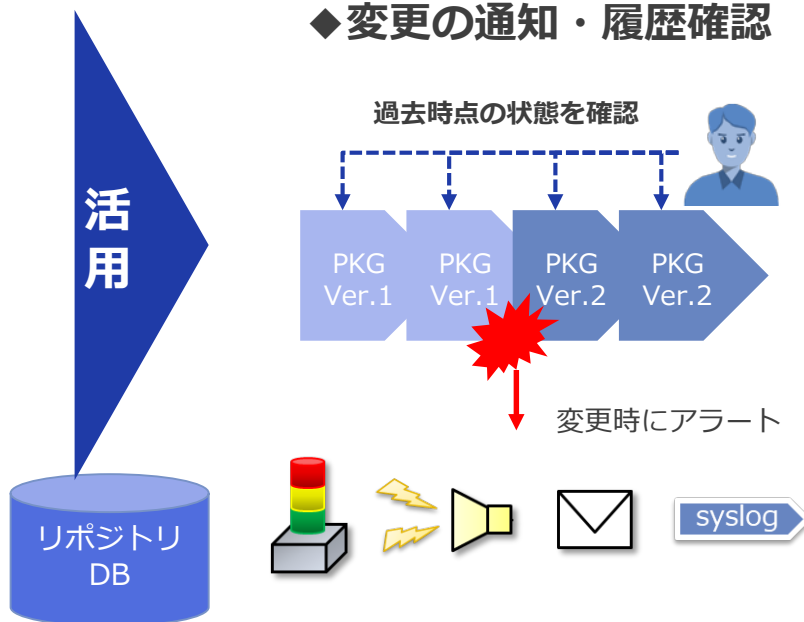
監視に必要な
デバイス情報の取得

構成情報

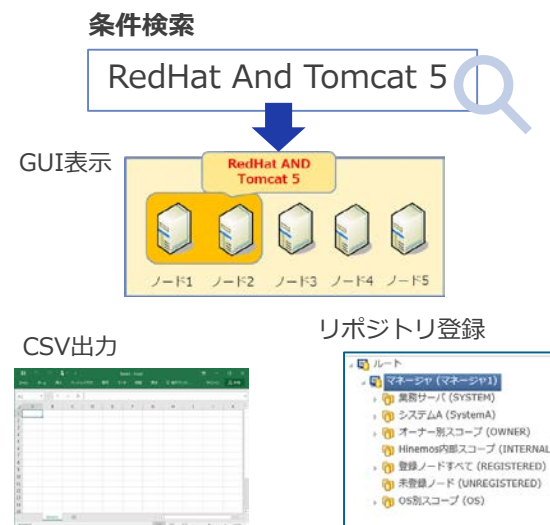
パッケージ・プロセス情報
を含む各種構成情報の取得

情報活用

◆変更の通知・履歴確認



◆検索と見える化



構成情報管理の工数削減

メンテナンスが漏れがちな構成情報も
Hinemosが自動で取得

早急な脆弱性点検が可能に

定期・不定期に発生する脆弱性問題に対する
点検が検索するだけで実現

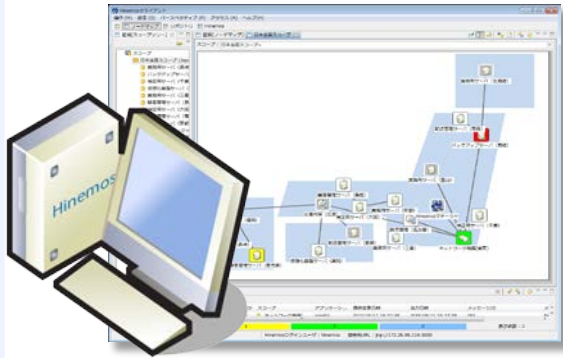
構成変更のサイクルを実現

対象特定⇒構成変更⇒結果確認のサイクルを
全てHinemosで実現

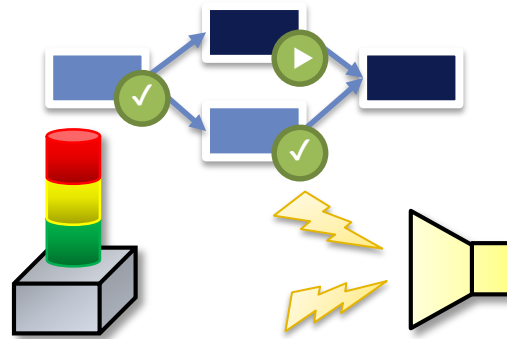
通知機能 概要

Hinemosの各機能は、**実行結果を様々な形で通知可能**です

監視コンソールで
視覚的に通知



監視結果に連動して
処理実行

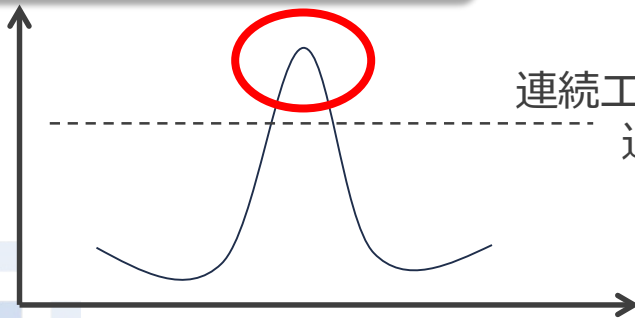


監視結果を
外部に通知



瞬間的な異常やメッセージラッシュにおける、**通知抑制**が可能

瞬間的な異常



連続エラーで無ければ
通知しない

メッセージラッシュ

```
INFO service start  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge
```

初回通知後は一定時間は
通知しない

通知機能 イベント情報の確認画面

イベント情報を確認する画面の柔軟なカスタマイズが可能です

ユーザ拡張イベント

監視履歴[イベント]ビューにユーザ定義列を追加可能

オーナーロールID	ユーザ追加項目 1	ユーザ追加項目 2	テスト項目 (編集不可)	テスト項目 (編集可)	テス
INTERNAL					
INTERNAL	useritem 01	useritem 02	useritem 03	useritem 04	use
INTERNAL					

- 最大40項目
- 編集可/不可を設定可
- デフォルト値の設定可
- APIで投入
- イベントカスタムコマンドで使用可

レイアウトカスタマイズ

リッチクライアント、Webクライアントの単位で列の表示順・幅を指定可能

```
<list id="EventListComposite">
  <columns>
    <column id="MANAGER_NAME" width="0" /><!-- 非表示 --><!-- マネージャ -->
    <column id="PRIORITY" width="55" /><!-- 重要度 -->
    <column id="RECEIVE_TIME" width="140" /><!-- 受信日時 -->
    <column id="SCOPE" width="150" /><!-- スコープ -->
    <column id="CONFIRMED" width="80" /><!-- 確認 -->
    <column id="MONITOR_ID" width="100" /><!-- 監視項目ID -->
    <column id="MESSAGE" width="400" /><!-- 表示幅を拡張 --><!-- メッセージ -->
    <column id="APPLICATION" width="120" /><!-- アプリケーション -->
    <column id="OUTPUT_DATE" width="140" /><!-- 出力日時 -->
    <column id="PLUGIN_ID" width="90" /><!-- プラグインID -->
    <column id="MONITOR_DETAIL_ID" width="100" /><!-- 監視詳細 -->
    <column id="FACILITY_ID" width="100" /><!-- ファシリティID -->
    <column id="CONFIRM_USER" width="80" /><!-- 確認ユーザ -->
    <column id="COMMENT" width="200" /><!-- コメント -->
    <column id="OWNER_ROLE" width="130" /><!-- オーナーロールID -->
    <column id="USER_ITEM01" width="100" /><!-- ユーザ項目01 -->
    <column id="USER_ITEM02" width="100" /><!-- ユーザ項目02 -->
    <column id="USER_ITEM03" width="100" /><!-- ユーザ項目03 -->
    <column id="USER_ITEM04" width="100" /><!-- ユーザ項目04 -->
  </columns>
</list>
```

表示に反映

重要度	受信日時	スコープ	確認	監視項目ID	メッセージ
情報	2019/01/07 11:27:19	scopetext	未確認	monitor_id	message
情報	2019/01/07 11:27:14	Hinemos_Internal	未確認	SYS	Hinemosマネージャが起動しました。[DESKTOP-KQV563C]

必要最低限の列のみ表示
見たい順に列の並び替えが
簡単に実現

レイアウト設定

通知機能 イベント情報を使ったユーザー操作と履歴管理

イベント情報を利用したユーザ判断を伴った操作が可能です

③コマンド選択&実行

監視履歴[イベント・カスタムコマンドの実行]

マネージャ: マネージャ1

選択中のイベント件数 2件

カスタムコマンド選択

コマンド名	説明
<input type="radio"/> テストコマンド	テストコマンドです
<input type="radio"/> テストコマンド2	テストコマンド2です
<input type="radio"/> テストコマンド3	テストコマンド3です
<input type="radio"/> テストコマンド4	テストコマンド4です

実行 閉じる(C)

ユースケース



②イベント選択

①Hinemosプロパティでコマンド定義

名前	値	説明	オーナー	グループ	更新日時
monitor.event.customcmd.cmds.buffer_size	512	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.command	CMD(CMD TEST)	文字列	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.data_format	%Y%m%d%H%M%S	文字列	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.description	テストコマンドです	文字列	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.displayname	テストコマンド	文字列	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.enable	true	真偽値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.events	10	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.log_level	fatal	真偽値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.max_eventsize	2	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.mode	auto	文字列	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.notify	3	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.notify_wait_time	2	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.return_code	10000	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.user		文字列	ADMINISTRATORS	Hinemos	
monitor.event.customcmd.cmds.warns	3	数値	ADMINISTRATORS	Hinemos	

④実行結果の確認

監視履歴[イベント・カスタムコマンドの実行結果]

テストコマンド[マネージャ1]が終了しました。

実行件数: 2件

実行結果: 正常 2件 警告 0件 エラー 0件 キャンセル 0件

コマンド起動日時: 2019/01/07 11:00:19

実行日時: 2019/01/07 11:00:19 ~ 2019/01/07 11:00:19

イベント情報	結果	RC	メッセージ
処理順:1	正常	0	出力: TEST エラー 出力:
処理順:2	正常	0	出力: TEST エラー 出力:

閉じる(C) キャンセル(C)

⑤実行履歴の保存

イベント操作履歴

2019/01/07 12:11:17 [hinemos] イベントカスタムコマンド: (テストコマンド): 実行結果:正常 (RC=0)

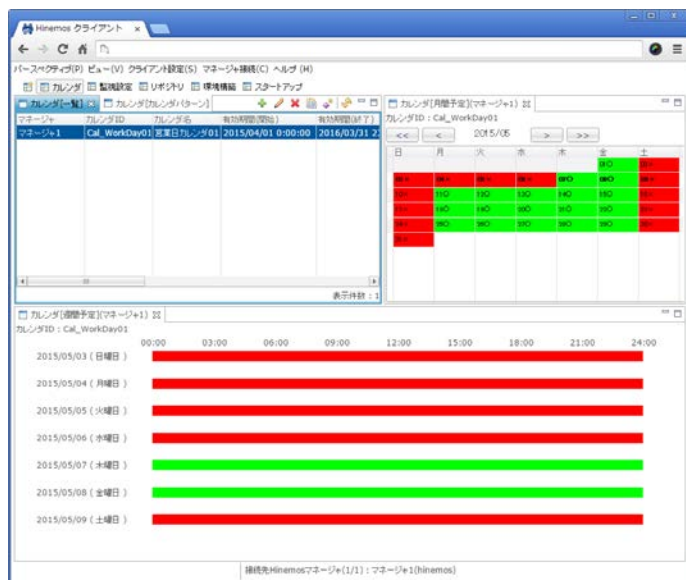
2019/01/07 12:11:17 [hinemos] 出力: TEST

エラー 出力:

2019/01/07 12:11:17 [hinemos] イベントカスタムコマンド (テストコマンド): 実行開始

カレンダー機能 概要

業務の営業日・メンテナンス日に合わせたカレンダー定義が可能です



定期的なカレンダー

- ・年月日、曜日の定期ルールで指定可能
- ・前後日指定で、日数ずらした定義可能
- ・非稼働日の場合の振替日・振替回数を指定可能

不定期なカレンダーパターン

- ・定期的ではない祝日パターンを指定可能
- ・会社の創立記念日、緊急メンテナンス日も指定可能

稼働スケジュールを
視覚的に確認可能

昼間・夜間の異なる運用を
実現可能

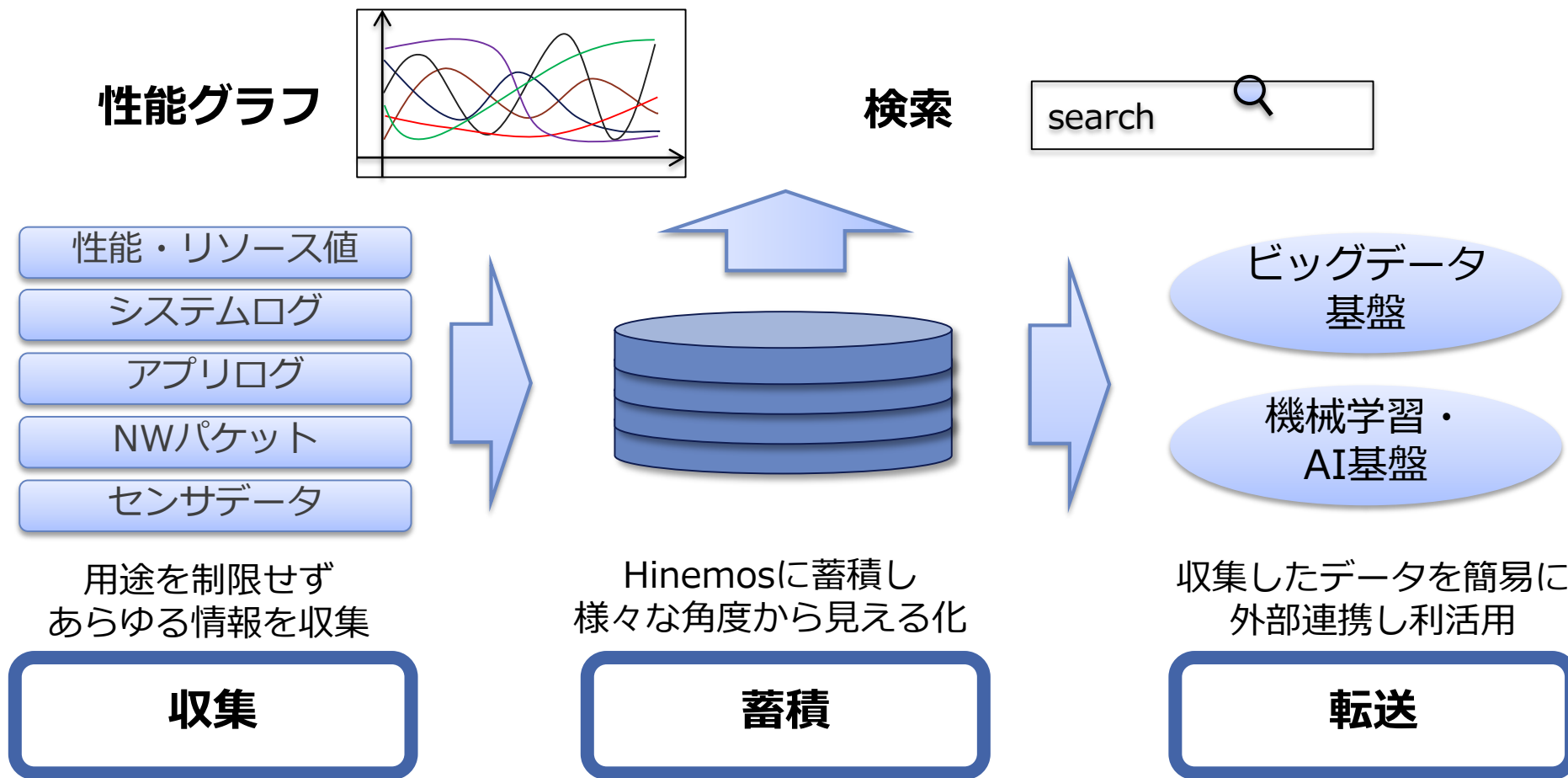
監視・ジョブ・通知などの
各機能で指定可能

複数テナント間での
カレンダー共有・非共有が可能

収集・蓄積機能

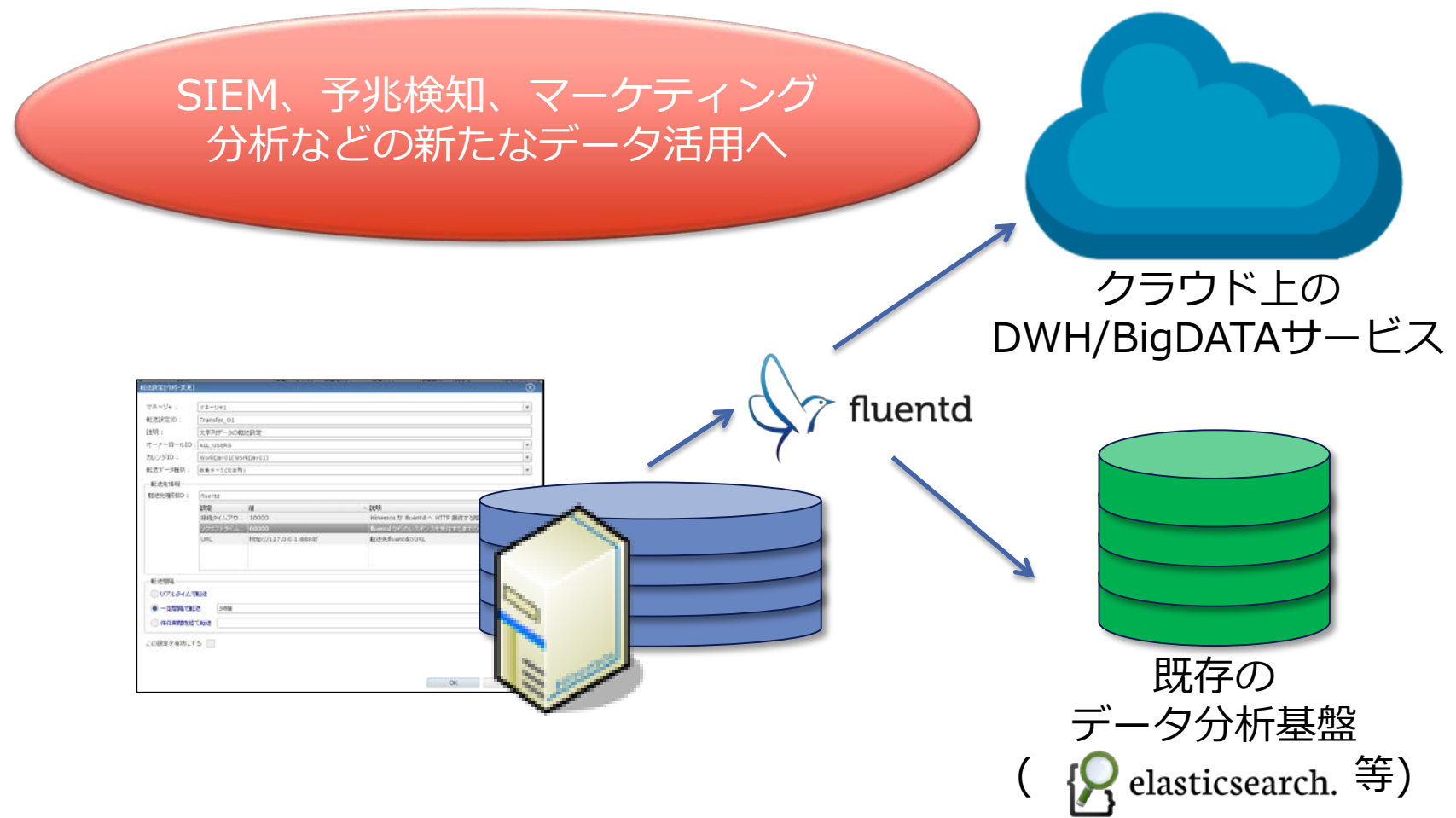
収集・蓄積機能 概要

運用状況の把握・分析や、運用の効率化・自動化など必要となる、ありとあらゆるデータの収集・蓄積管理を実現可能です



収集・蓄積 データ分析基盤への転送

収集データを転送しSWH/ビッグデータ分析基盤へ連携可能です



監視・性能機能

多種多様な監視をGUIから簡易に設定し、簡単に実行できます

監視項目	概要
PING監視	対象機器へのping応答の有無により死活状態を監視します。
プロセス監視	起動しているプロセス数から状態を監視します。
リソース監視	対象機器のリソース情報を取得してその状態を監視します。
サービス・ポート監視	特定のサービス・ポートについて、応答有無や応答時間から状態を監視します。
Windows サービス監視	Windows サービスの状態を監視します。
Windowsイベント監視	Windowsイベントログに出力されたメッセージを監視します。
Hinemosエージェント監視	Hinemos エージェントの死活状態を監視します。
HTTP監視	Webサーバの応答有無や応答時間、レスポンスの内容から状態を監視します。
HTTPシナリオ監視	複数のURLへ順にアクセスし、想定されるアクセスが可能であることを監視
SNMP監視	汎用的なプロトコルSNMPの応答の内容を監視します。
SNMPTRAP監視	対象機器からSNMPTRAPを受信することで、対象機器の状態を把握します。

監視項目	概要
SQL監視	DBサーバの応答有無や応答時間、SQLレスポンスの内容から状態を監視します。
JMX監視	Javaアプリケーションのヒープメモリサイズ等の状態を監視します。
ログファイル監視	特定のログファイルに出力されたメッセージを監視します。
システムログ監視	各種OSのシステムログに出力されたメッセージを監視します。
ログ件数監視	指定のメッセージを含むログの一定期間の出力量を閾値監視をします。
相関係数監視	2値の相関係数に対して閾値監視をします。
収集値統合監視	指定した複数の条件を満たすか否かを監視します。
バイナリファイル監視	バイナリファイルを監視します。
パケットキャプチャ	パケットキャプチャを監視します。
カスタム監視	ユーザ定義のコマンド/スクリプトの実行結果(数値・文字列)を監視します。
カスタムトラップ監視	json形式でHinemosマネージャに送信された情報(数値・文字列)を監視します。

監視機能 監視結果の視覚的な確認 (ノードマップ)

監視結果は、**グラフィカルに確認可能**

レイヤ2/レイヤ3の自動結線も可能

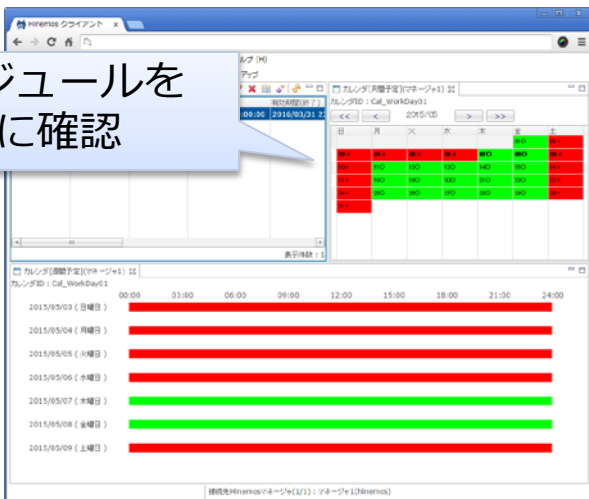
ノードの状態をマップ上で確認

監視結果の詳細まで GUI上で確認可能

属性名	値
重要度	危険
受信日時	2015/04/16 19:40:30
出力日時	2015/04/16 19:40:25
プラグインID	MON_PNG_N
監視項目ID	PING
監視詳細	
ファシリティID	t500-agt-rhel66-64
スコープ	t500-agt-rhel66-64
アプリケーション	PING
メッセージID	003
メッセージ	Packets: Sent = 1, Received = 0, Lost = 1 (100% loss)
オリジナルメッセージ	Pinging 172.26.96.126 (172.26.96.126) .Reply from 172.26.96.126: bytes=32 time=0ms TTL=64
確認	未
確認済み日時	
確認ユーザ	
重複カウンタ	0
コメント	入力項目です
コメント更新日時	
コメント更新ユーザ	
オーナーロールID	ALL_USERS

高度なカレンダー設定が、監視設定や通知設定に適用可能です

稼働スケジュールを
視覚的に確認



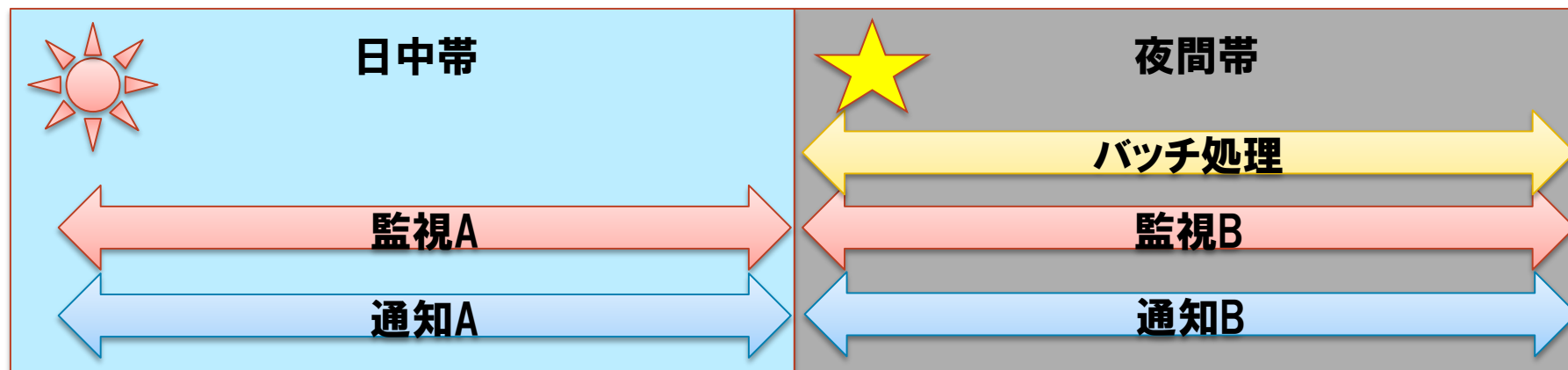
毎月第3月曜日のみ稼働

毎月最終日のみ稼働

平日09:00~19:00のみ稼働

所定のメンテナンス日のみ非稼働

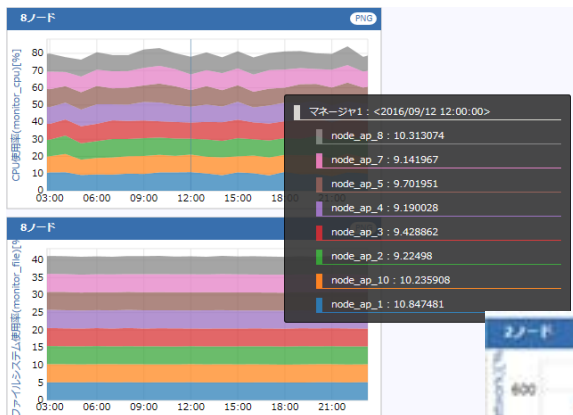
日中帯と夜間の異なるワークロードに対する制御も容易に実現



一般的にジョブ管理製品が持つ高度なカレンダー制御を監視機能でも利用できます。

性能グラフ機能 機能概要

システムの「過去」から「未来」までの見える化を実現可能です

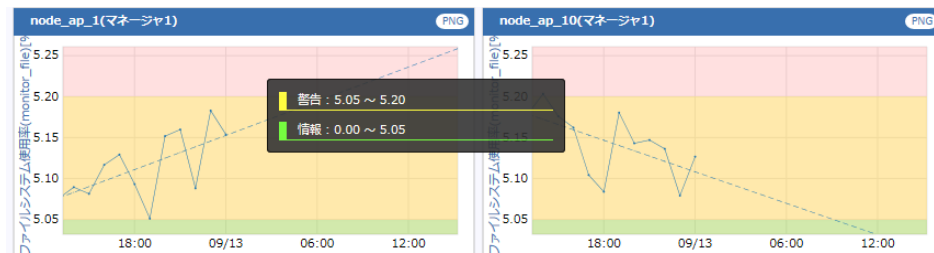


積み上げ面グラフ



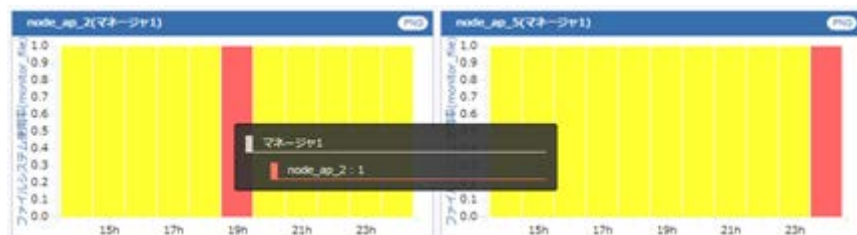
散布図・相関係数

例. CPU使用率とHTTPのレスポンスタイムの相関



折れ線グラフ

Hinemosクライアント上で
システムの傾向分析を
効率的に行えます。



期間表示

例. 特定の期間の情報・警告・危険イベント

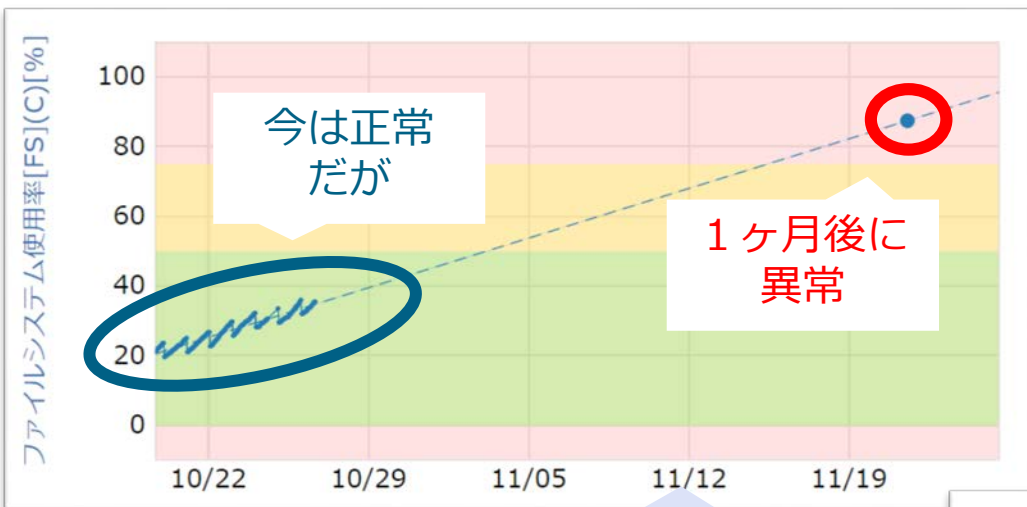


円グラフ

例. 特定の期間で情報・警告・危険イベント

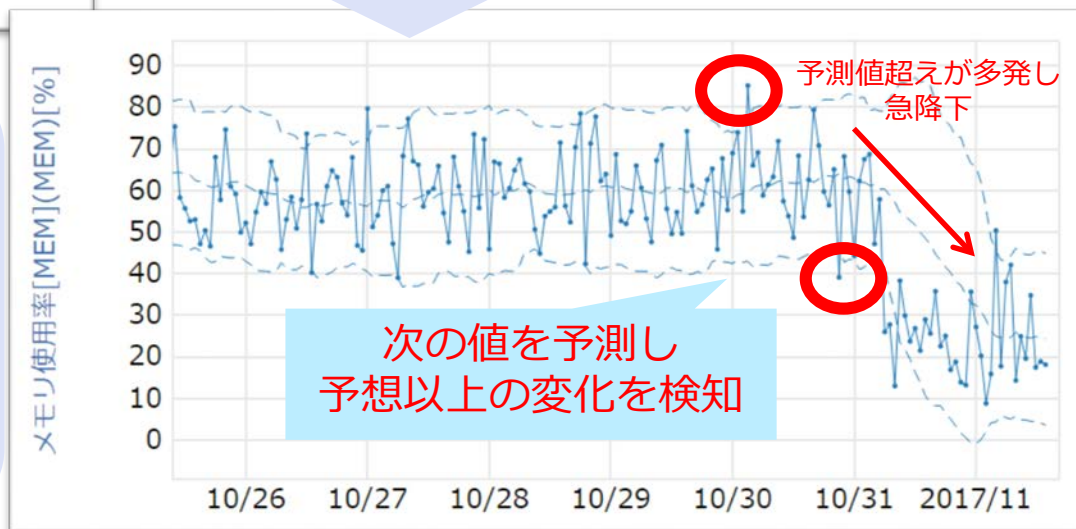
性能グラフ機能 将来予測と変化量によるグラフ表示

収集したデータを元に将来予測値や変化量からの分析が可能です



普段の傾向との差を視覚的に確認

将来的な異常を視覚的に確認



自動化機能

自動化機能

■ 環境構築から業務処理、オペレータによる運用までを自動化

構築自動化

(環境構築)

サーバ環境構築のセットアップといった一連の作業を定型化
複数環境に対しても一括で環境構築
設定ファイルの配布・置換といった定型操作も簡単に設定

業務自動化

(ジョブ管理)

サーバ間を跨る処理フロー（ジョブネット）を一元管理
即時実行・スケジュール起動・他システム連動など様々な起動契機に対応
48時間カレンダー対応し運用時刻変更による特異日試験など運行管理に必要な機能を提供

運用自動化

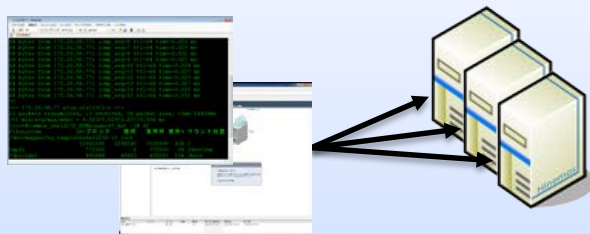
(Runbook Automation)

運用手順書(Runbook)の自動化(Automation)を支援
人が行う確認・判断作業から障害確認まで簡単に設定可能
ジョブ管理と同一インタフェースで提供

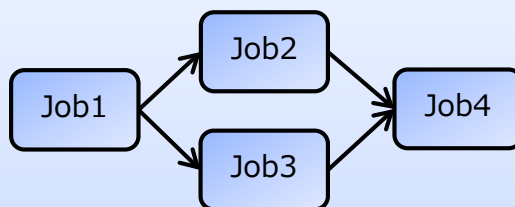
業務自動化(ジョブ管理機能)

複数のサーバを跨る一連の処理フロー（ジョブネット）を
一元管理できます

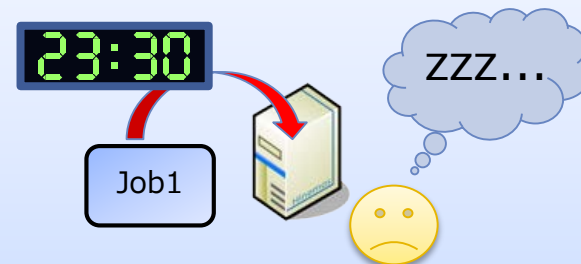
業務・ミドルウェア処理



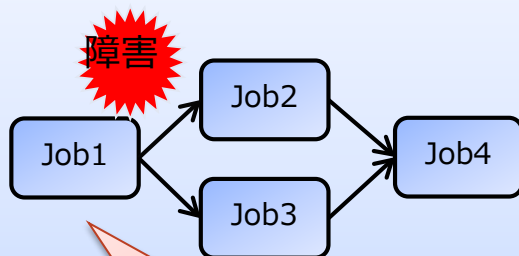
連続・複雑な操作



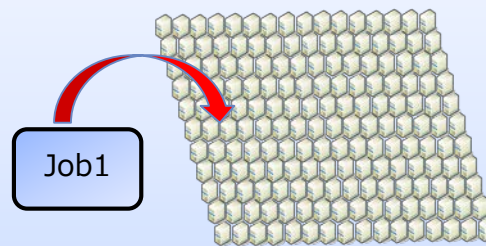
定時処理/深夜処理



処理結果の確認



大量ノードへの一括実行



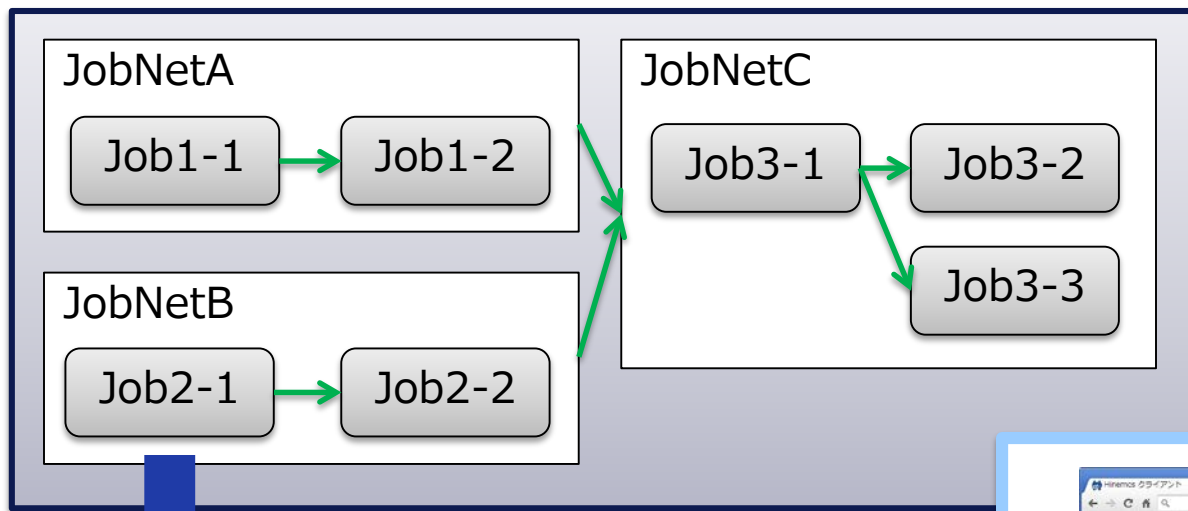
HinemoS



ジョブの
一元管理

- ・システム**運行に必要な処理**(ジョブ)の管理
- ・システム**異常発生時に必要な処理**(ジョブ)の管理

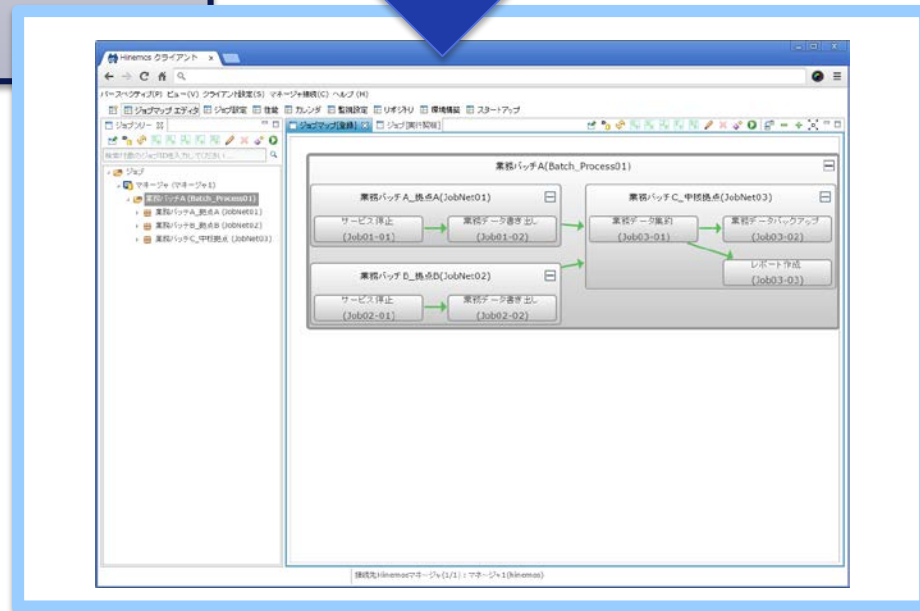
処理フローは「**ジョブネット**」として**階層的にグループ化**できます



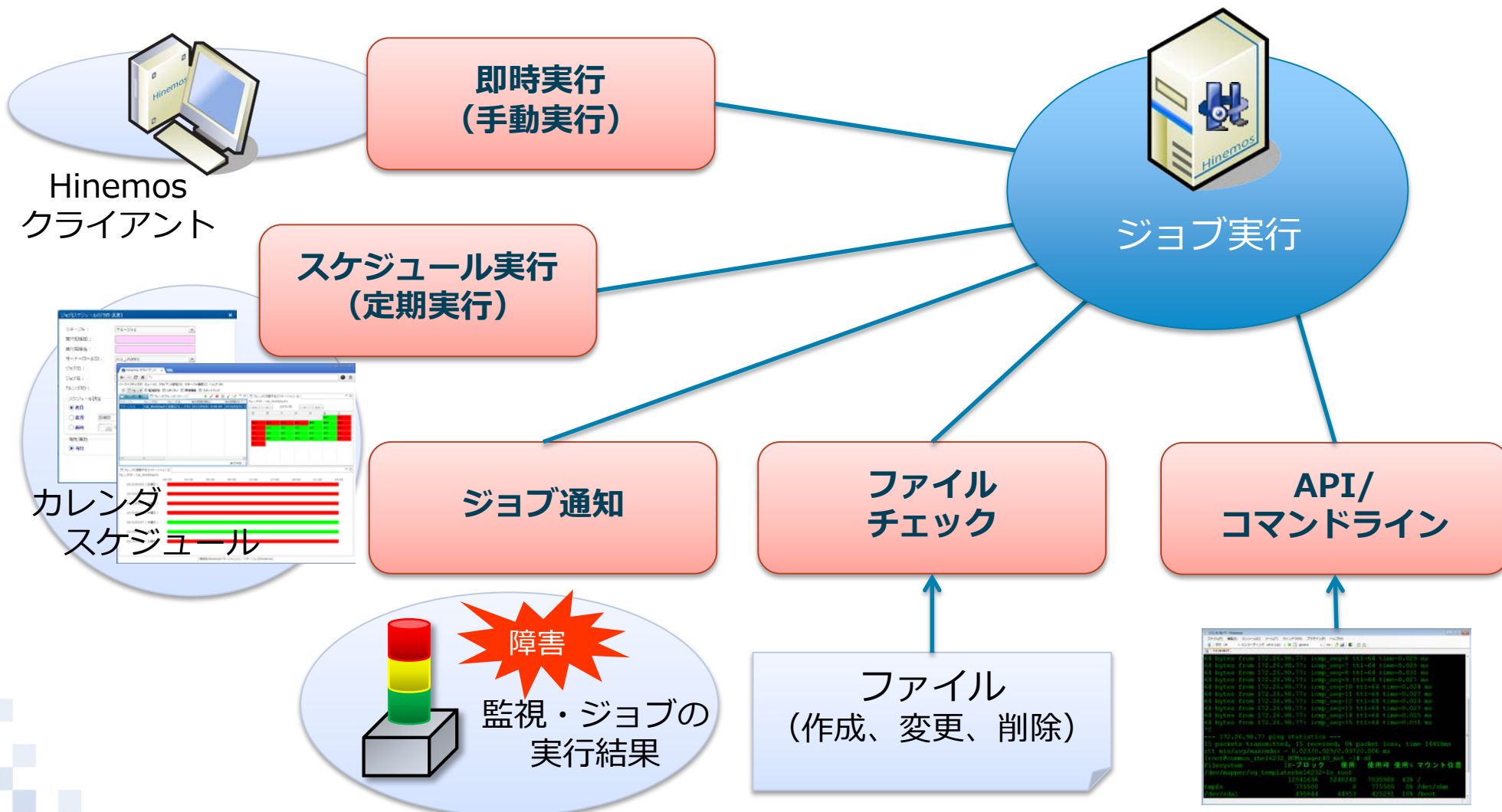
ジョブネットで定義した
実行したい処理の流れを
画面でそのまま確認可能

個々の処理 (ジョブ) 単位の制御も充実

- ✓ 正常・異常終了の判定
- ✓ 待ち条件・実行契機の制御
- ✓ 実行結果の通知設定



ジョブネットは**任意の契機**で実行可能です



業務自動化 ジョブ管理機能 ジョブネットの作成・確認

実行中の状態・実行結果もGUIから視覚的に確認可能です

The screenshot displays the Hinemos Client interface. The top window shows a table of job execution details:

マネージャ	実行状態	終了状態	終了値	セッションID	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニ...	種別	ファシリティID	スコープ	オーナーロールID
マネージャ1	実行中			20150423175518-000	JU-BKUP	バックアップジョブ	JU-BKUP	ジョブユニ...			ALL_USERS
マネージャ1	実行中			20150423175341-000	JU-BKUP	バックアップジョブ	JU-BKUP	ジョブユニ...			ALL_USERS
マネージャ1	終了	異常	-1	20150423175134-000	JU-BKUP	バックアップジョブ	JU-BKUP	ジョブユニ...			ALL_USERS

The bottom window shows a job network diagram for a backup job (バックアップジョブ(JU-BKUP)). The diagram consists of several job networks (ジョブネット) connected by arrows. Each network contains individual jobs (ジョブ). The colors of the boxes and lines indicate the status of the jobs and the flow of the network.

ジョブネットの
実行状態を視覚化

正常・異常終了を
ボックスの色で判別

ビューア画面から
再実行操作が可能

後続ジョブが動く
条件を線の色で判断

実行中・結果の
詳細情報を表示

業務自動化 ジョブ機能の進化

他社製品からのジョブ定義移行も実現できる多彩な機能拡充を実施

バージョン	主な機能追加・改善	バージョン	主な機能追加・改善
Hinemos ver.3.2	<ul style="list-style-type: none"> ジョブのアクセス制御 ジョブセッション管理の改善 起動コマンドの制約緩和 	Hinemos ver.5.0	<ul style="list-style-type: none"> ジョブの繰り返し実行 ジョブのテスト実行 Hinemosエージェント停止時のジョブステータス遷移（危険に遷移） コマンドの標準出力/標準エラー出力を通知に利用可能 コマンドにノードプロパティを利用可能 ジョブの実行時間を表示 ノード変数をジョブ変数に利用可能 ジョブの条件改善（「セッション開始後の時間」を追加） ジョブスケジュールの繰り返し間隔の改善
Hinemos ver.4.0	<ul style="list-style-type: none"> 「Hinemos ジョブマップ (TM)」機能 Hinemosエージェント通信機構の改善（Webサービス化） ジョブ機能の性能改善（表示/登録の高速化、同時実行数の向上） 	Hinemos ver.6.0	<ul style="list-style-type: none"> RBA対応 Hinemos時刻の追加（運用時刻の設定） スクリプト配布機能 承認ジョブの追加 監視ジョブの追加 OS環境変数定義 ランタイムジョブ変数の追加 順次リトライの動作改善
Hinemos ver.4.1	<ul style="list-style-type: none"> ジョブ種別（参照ジョブ） 実行契機（ファイルチェック） ビュー（スケジュール予定） エージェント単位の多重度実行制御 編集モード 内部時刻リセット 日跨ぎ対応（48時間カレンダー） スケジュールの繰り返し実行対応（最小実行間隔を5分へ） ジョブ終了方法の改善（実行中のジョブに対し、シグナル送信で終了可能に） ジョブ実行優先度 ジョブの状態の詳細化 ジョブの待ち条件の改善（先行ジョブのリターンコードを利用可能に） ジョブ機能の性能改善（表示/登録の高速化） 	Hinemos ver.6.1	<ul style="list-style-type: none"> 実行時間予測による終了遅延検知 セッションを跨いだイベント連携 待ち条件のIf-Else対応 条件指定の繰り返し実行
		Hinemos ver.6.2	<ul style="list-style-type: none"> キュージョブによるジョブ同時実行制御

商用システム運用を実現する Hinemos

大規模・複雑化するシステムを効率的に運用したい

クラウドや仮想化環境を効率的に運用したい

ミッションクリティカルシステムの運用を実現したい

エンタープライズ機能

**クラウド・VM
管理機能**

**ミッションクリ
ティカル機能**

エンタープライズ機能

エンタープライズ機能

商用システムの効率的な運用を実現するための、
運用状況可視化、運用設定管理の容易化を実現します

Hinemos Utility

Hinemos ジョブマップ

Hinemos レポートニング

Hinemos ノードマップ

- **Hinemosジョブマップ**
ジョブフローを可視化
直感的な操作で運用作業を容易に設定可能
- **Hinemosノードマップ**
監視対象を2次元マップで可視化
- **Hinemosレポートニング**
監視結果やジョブ実行状況をレポート出力
- **Hinemos Utility**
使い慣れたExcelでHinemosの設定を操作
設定内容の一括入出力が可能
- **ユーティリティツール**
インシデント管理ツールとの連携や、
HinemosのCUI操作、メンテナンス作業、
バージョンアップ作業の効率化を実現

Hinemosレポートティング機能

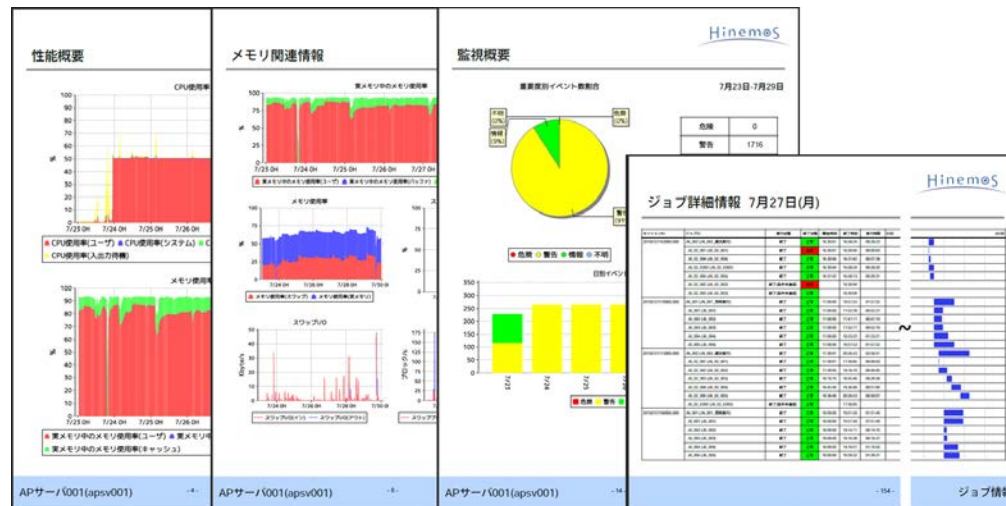
Hinemos上の運用データからレポートを作成し、配信可能です

レポートの自動生成・配信

運用結果を、定義したスケジュールに基づき自動で生成・メール配信

テンプレートの活用

必要なレポートフォーマットを、テンプレートを用いて容易に指定可能



テンプレート		説明
性能情報	ノード概要	各性能情報のカテゴリのうち、代表的なグラフを表示
	ノード詳細	全ての性能情報のグラフを表示
監視情報	ノード概要	イベントの重要度比率や日別件数をグラフで表示
	ノード詳細 (表)	イベントの内容をリストで表示
	ノード詳細 (グラフ)	数値監視 (リソース監視を除く) の結果をグラフで表示
ジョブ情報	セッション	ジョブの起点単位の終了状態をリストで表示
	ジョブ詳細	ジョブ毎の実行状態をガントチャートで表示
	ノード詳細	ノード毎のジョブの実行状態をガントチャートで表示

AWSクラウド性能情報・VMware vSphere仮想化性能情報のレポートテンプレートも提供

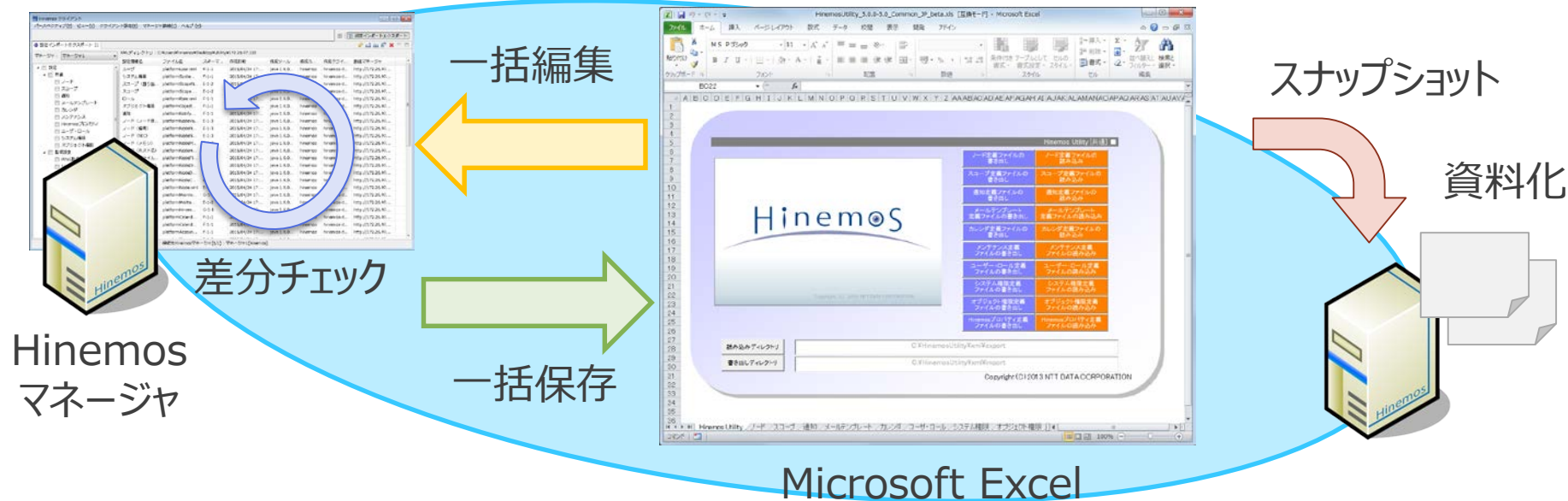
Hinemosのジョブや監視などの設定をExcelで一括編集できます

■ Hinemosクライアントからインポート・エクスポート

- ・ 多数の設定を一括でインポートし、設定に要する時間を短縮
- ・ 設定を一括でエクスポートし、設定内容をスナップショットとして保持や設計資料へのフィードバックに利用可能

■ 差分チェック

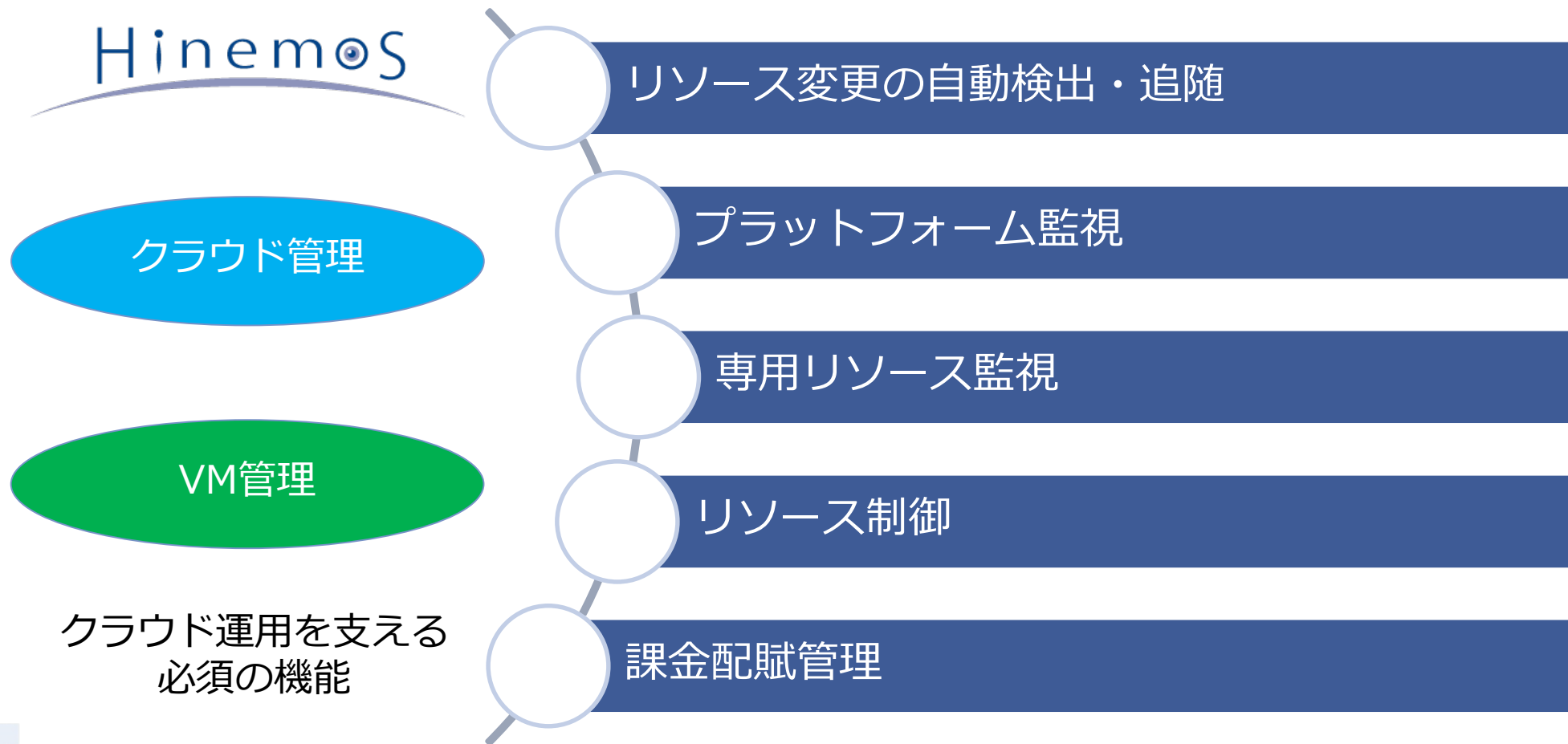
- ・ 設定情報の差分の有無や差分内容の検出により安全な変更作業を実現



クラウド・VM管理機能

VM・クラウド管理機能

仮想化・クラウド環境の統合管理・一元管理を実現するための幅広い機能をご利用いただけます



クラウド・仮想化運用を効率化する専用機能

単一画面でハイブリッドクラウド環境を俯瞰的に管理可能

AWS

Azure

VMware Hyper-V

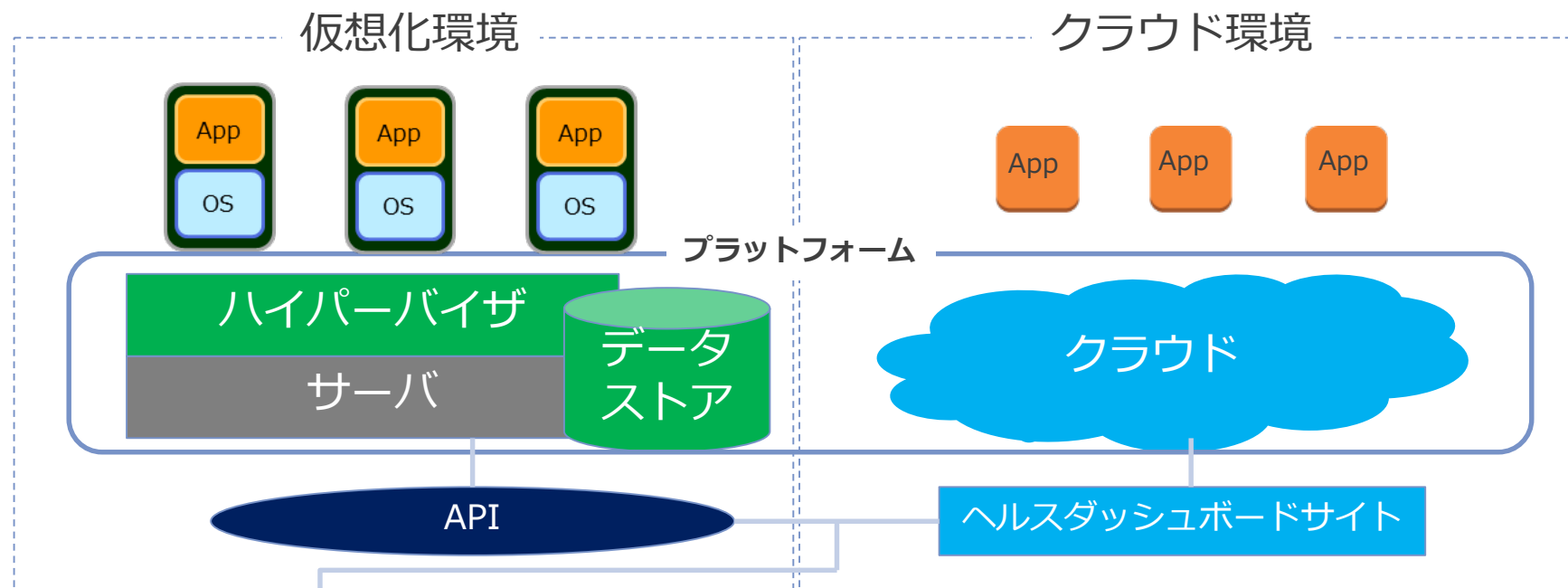
The screenshot displays a unified management interface for a hybrid cloud environment. The main window is divided into several sections:

- AWS (Amazon Web Services):** Shows a list of regions including Asia Pacific (Tokyo, Singapore, Sydney), Europe (Frankfurt, Ireland), North America (Virginia, Oregon), and South America (Brazil). Under the Sydney region, several instances are listed: web01, batch, db01, db02, web02, and web03. Availability zones and subnets are also visible.
- Azure (Microsoft Azure):** Lists regions such as Brazil, USA Central, East Asia, USA East, USA East 2, and Japan (East). It shows cloud services, VPCs, and virtual networks.
- VMware vCenter Server:** Displays a host (172.16.1.10) and a data center (DC01) containing various virtual machines (VMs) like takahata, agent-lin01 through agent-lin10, and nagatsuma.
- Hyper-V (Windows Server 2016):** Shows a host (172.16.1.20) and a list of virtual machines including agent-lin01 through agent-lin10 and agent11 through agent12.

Colored dashed lines connect the labels 'AWS', 'Azure', 'VMware', and 'Hyper-V' to their respective sections in the interface. The interface also shows a sidebar with navigation options like 'マネージャ' and 'クラウド(構成ツリー)'.

プラットフォーム監視

アカウント登録だけでVM・クラウドの基盤の正常性を監視可能です



状況	クラウドサービス名
正常	Datastore [QNAP]
正常	Datastore [esx1-localstore]
正常	Datastore [esx2-localstore]
正常	Network [VM Network]
警告	HostSystem [172.16.1.20]
警告	HostSystem [172.16.1.10]

プラットフォームのステータス確認

システム障害発生時に
アプリケーションの問題か
プラットフォームの問題かを
簡単に切り分けできる

専用リソース監視

モニタリングサービス/API経由とOS直接取得の情報を
同一インタフェースでシームレスに監視できます

Hinemosのカバー範囲

管理リソース値の分類	VM環境の代表例	クラウド環境の代表例
モニタリングサービス/ APIのカバー範囲	CPU使用率 CPU不足量 バルーン使用量 データストア使用率	PaaSのリソース値 ELB/RDS等 EBSのリソース
OSから直接取得する 必要のある範囲	CPU使用率 sys/usr/iowait等内訳 メモリ利用率 バッファ、スワップI/O ファイルシステム使用率	

専用サービス・ツールが必要

必ずセットで必要になる

OSの中の情報は
モニタリングサービス/API経由で取得できない

作り込み不要で
収集/監視/蓄積

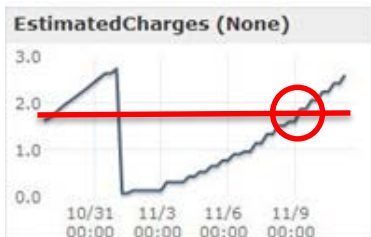
レポート
テンプレート有

マスタ編集可で
メトリクス追加

リソース監視で
項目を選ぶだけ

任意のスコープ単位でアラートだけでなく課金配賦を管理可能です

課金アラートの限界



- アカウント単位・サービス単位では詳細分析に足りない
- 最新情報だけでなく日々の変化や日々の増分が知りたい

手動分析の限界

物理リソースと論理リソースのマッチングが必要になる

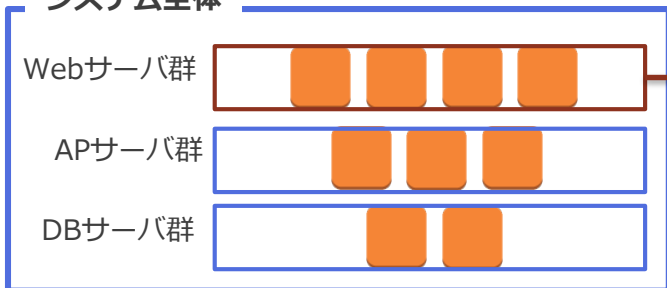
NW IN料金
NW OUT料金
CPU料金
ディスク料金

- 足し合わせて1サーバ料金に
- AutoScalingの配慮も必要
- 一般には個別にリポジットリ管理が必要

知りたいのはWebサーバのコストは？
といった論理レイヤ

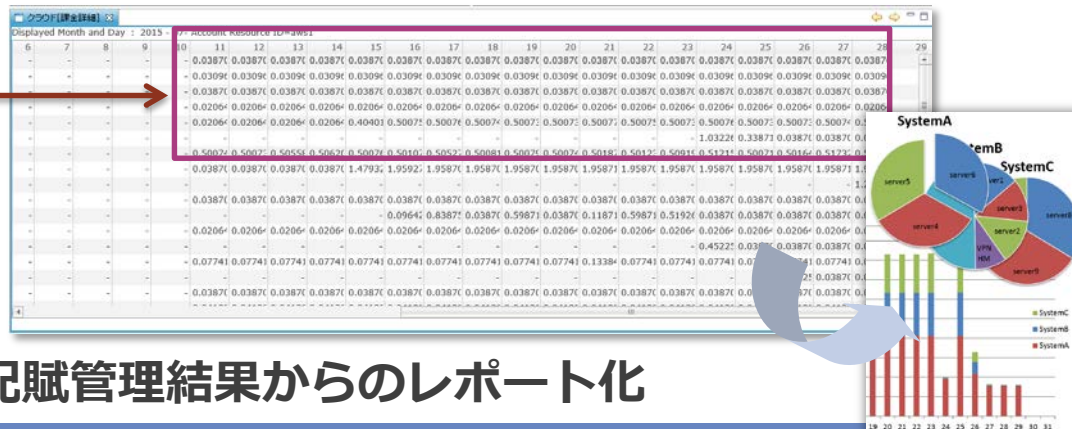
Hinemos課金管理機能

システム全体



- 日単位で最新情報・増分情報からアラート
- タグを使って任意のスコープの料金にカテゴライズといった調整可能

指定のグループ単位だけの料金把握



配賦管理結果からのレポート化

リソース制御

クラウドでは不要な時間を止めることでコスト削減できます

基本的なクラウドコストの考え方 : インスタンス数 × インスタンスタイプ × 起動時間

・土日を停止できれば

月 - 金
→ 5日/7日

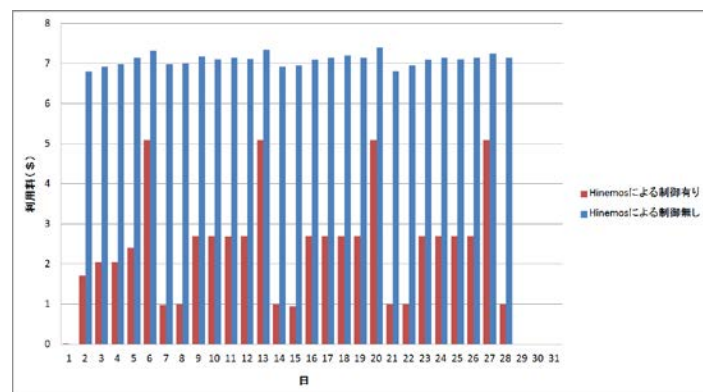
インフラコスト削減

70%

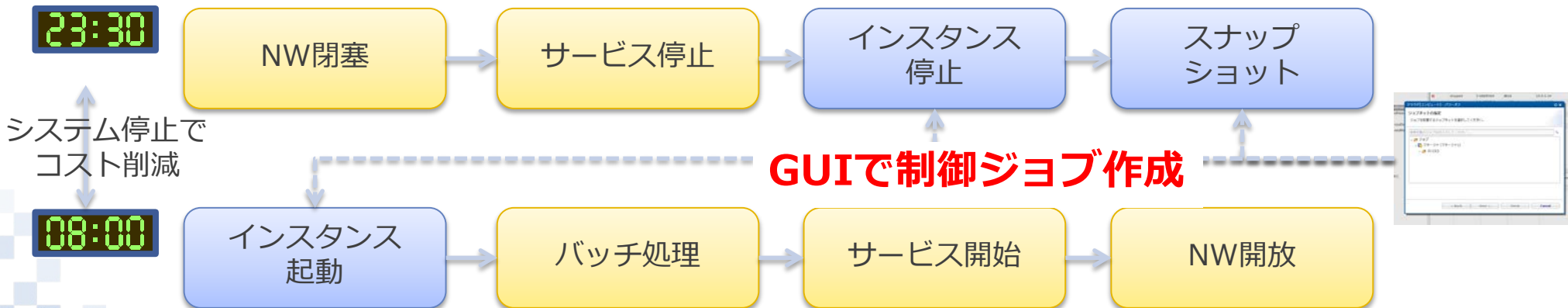
・さらに起動時間を8時~24時にすれば

月 - 金 & 8:00-24:00
→ (5日/7日) × (16時間/24時間)

50%



業務処理 □ と連動したリソース制御 □ が簡単に実現

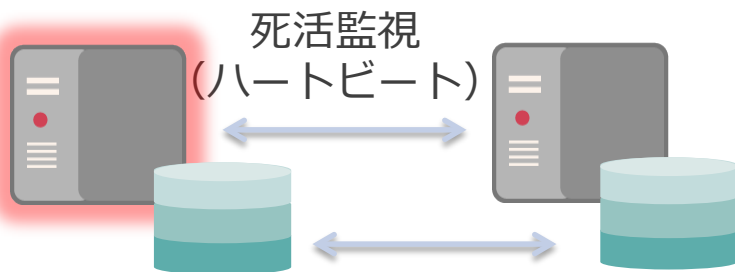


ミッションクリティカル機能

ミッションクリティカル機能

ミッションクリティカルシステムの安定的な統合運用管理に必要なHinemos自身の冗長化を、容易に実現します

Hinemosマネージャ (Master) Hinemosマネージャ (Standby)



同期レプリケーション(*)

(*) Linux版の場合のアーキテクチャ。

クラスタリングソフト
共有ディスク不要

オンプレ・仮想化・クラウド
どこでも冗長化が可能

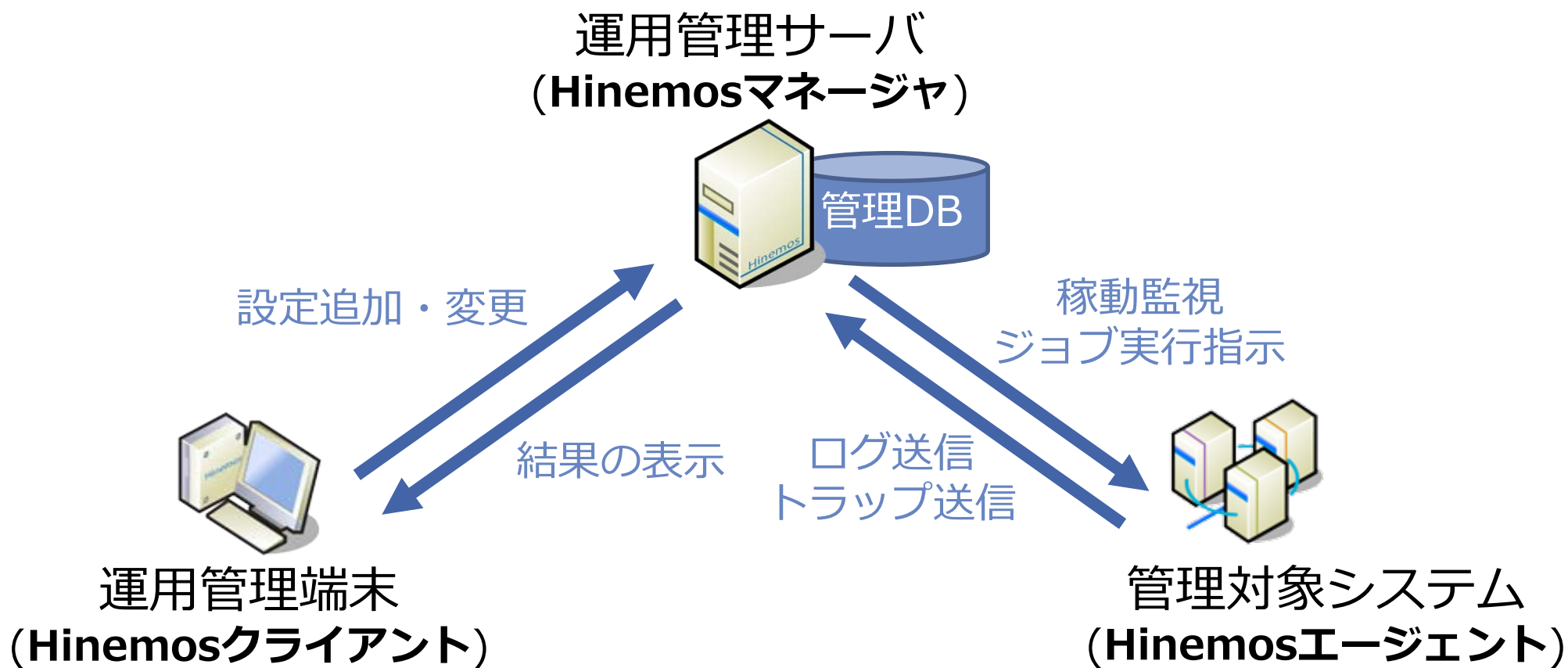
ワンパッケージ
ワンストップサポート

シンプルな構成・低コスト
ワンパッケージでHinemosの冗長化を実現

Hinemosの構成

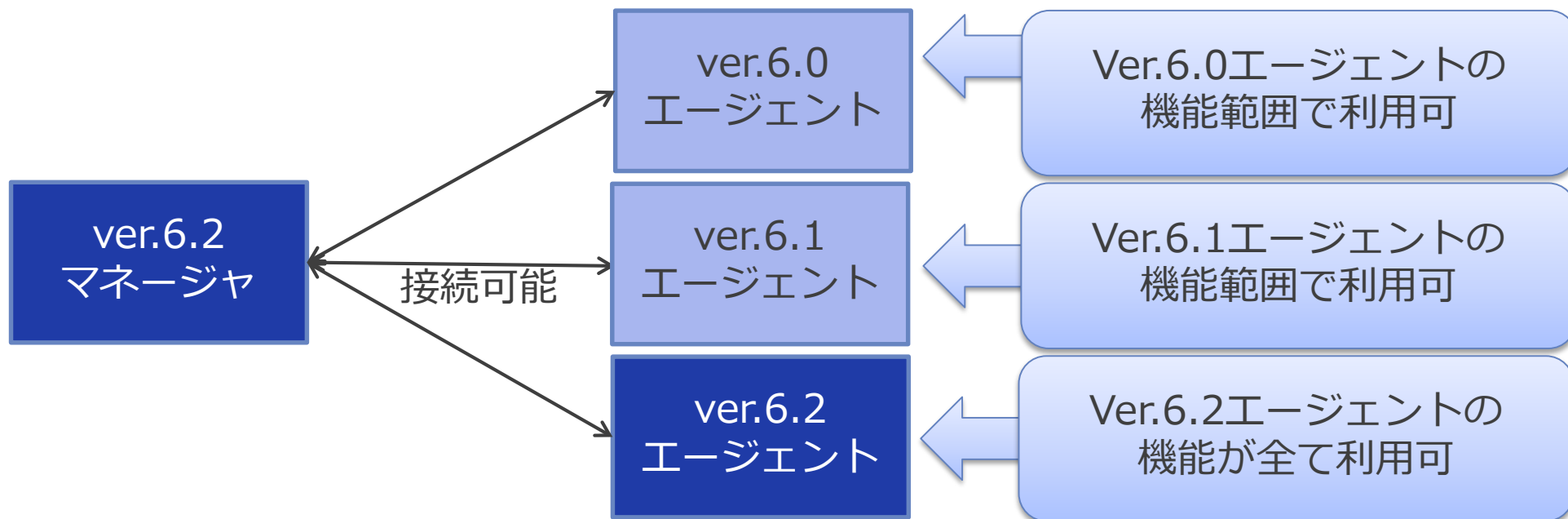
Hinemosの基本構成

- Hinemosは3つのコンポーネントから構成



バージョン互換性

- Ver.6よりバージョン互換性の対応を進めます。



新バージョンの新機能を利用したい場合に
管理対象サーバに導入したHinemosエージェントをそのまま
Hinemosマネージャのみのバージョンアップで対応できます。



NTT DATA

Trusted Global Innovator